



奄美市立住用中学校

絆

『学び』で可能性の扉を開く住用中

令和6年度

学校だより No.9

令和6年12月24日

12月は人権を考える機会としてみませんか。

校長 中尾 奨

毎年12月10日は「人権デー (Human Rights Day)」, 12月4日から12月10日を「人権週間」, 12月を「人権月間」としています。

「人権」とは、一人ひとりが生まれた時から持っている「自分らしく生きる」権利のことです。日本国憲法にも「基本的人権の尊重」を明記されているのですが、依然として女性の人権、子どもの人権、高齢者の人権、障害者の人権など多様な人権問題が存在している現状があります。これらの問題の解決には、私たち一人ひとりが様々な人権問題を、自分以外の「誰か」のことではなく自分のこととして捉え、互いの人権を尊重し合うことの大切さについて、認識を深めることが不可欠です。

12月の全校朝会で、2つの偏見について生徒に話をしました。1つめは、「無意識の偏見」(アンコンシャス・バイアス)で、自分自身が気づいていない「ものの見方、考え方、捉え方の歪みや偏り」のこと。2つめは、「性に関する偏見」(ジェンダーバイアス)で、無意識のうちに「男女の差や役割を決めてしまう」こと。SDGsにも目標5「ジェンダー平等を実現しよう」が設定されています。どちらも、無意識のうちにしてしまうことなので、解消するためには、一人ひとりが意識的に偏見や固定観念に向き合う必要があります。

一人ひとり良いところ、素敵などころをたくさん持っていて、それを「個性」と言います。一人ひとりの違いを認め、自分や友だちの良いところを見つけて、それぞれが大切な存在であることを認識することが大事になります。

ぜひ、12月を互いの人権を尊重し合うことの大切さについて、認識を深める機会にしてみませんか。

令和6年(2024年)も残りわずかになってきました。生徒たちは、14日間の冬休みになります。

この期間は、年末年始の年中行事もあり気持ちを新たにするとともに、家族や親戚と過ごす時間を大切に、絆を深める機会となるようにお願いします。

来年在生徒・保護者・地域の皆さまにとって良い年となるようにお祈り申し上げます。



芝田浩二先輩講話



12月6日(金)、住用小学校にてANA社長芝田浩二氏の講演会が行われ、住用中学校の生徒も参加させていただきました。

氏は瀬戸内町の加計呂麻島に生まれ、小学校4年生から中学校卒業までを住用で過ごしました。その後、甲南高校、東京外語大学を経て、ANAに入社。海外勤務を歴任し2022年4月1日付けで社長に就任されました。

講演では、「奄美の自然の中で毎日夢中になって過ごす中で生きる力が育まれること」「より広い世界に飛び出して高いレベルで自分を磨いていくこと」の大切さを語られました。

生徒たちも自分たちの先輩が世界で活躍する姿に大きく心を動かされたのではないのでしょうか。

氏が時間を割いて講演してくださったことを、生徒たちはしっかりと受け止め、自らの生き方を切り開いてほしいと願います。

調理実習



12月9日(月)に1・2年生の家庭科で調理実習が行われました。島袋先生の指導を受けながら、おっかなびっくりタマネギを刻んだり、弱火で炒めたりしていました。でも最後はきちんと作りあげて、美味しそうに試食していました。

料理を楽しむことも人生の楽しみの一つです。豊かな人生のためにできることを増やしていきたいという気持ちにつなげてほしいと思います。

人権教室



12月4日(水)～12月10日(火)の人権週間に合わせ12月9日(月)に、人権教室を開催しました。

奄美市人権擁護委員の栄和美さんと満香恵子さんをお招きして講話をしていただきました。

講話では全国中学生人権作文コンクール優秀賞作品を題材にしたドラマを見ました。幼なじみが同級生をいじめている姿を見たとき声をかけられなかった主人公でしたが、亡くなった父が話していたことに勇気もらい、幼なじみに「やめろ」と声をかけていじめがやんだという話でした。ドラマ視聴後に、自分やまわりを振り返り、いじめや人権侵害をなくすために私たちがどうしたらよいか、これからどんなことを大切にして生活していかなければならないか、みんなで考えました。

栄さんと満さんのご自分の経験も聞かせていただき生徒たちはより深く考えることができました。

ロードレース大会



12月14日(土)に、ロードレース大会を実施しました。

当日は雨交じりの空模様の中、男子1人、女子6人が参加し、男子3キロ女子2キロのコースを走りました。

普段なかなかこれだけの運動をすることのない生徒たちですが、沿道の応援を背に受けて、精一杯走り抜きました。練習以上の頑張りを見せて、授業よりも60秒以上タイムを縮めた生徒も出たようです。

走り終わったあとは、身体も温まり、大きな声で元気にこれからゴールする生徒を応援していました。

困難を乗り越えたすがすがしさを感じることができたとてもよい体験ができました。

保育実習



12月16日(月)に、家庭科の授業の一環で住用へき地保育所保育実習を3年生が行いました。

保育園児たちが喜びそうなおもちゃを手作りして用意して訪問し、一緒に遊ぶ活動でした。園児たちは、用意したおもちゃで遊んだり、紙皿で一緒に作ったこまを回したりと楽しんでくれていたようです。その様子を見て中学生たちもうれしそうでした。中学生が帰るときに園児たちも名残惜しそうにしてくれたのもよい思い出となりました。

中学生の将来にとって未来につながる有意義な学習ができました。受け入れてくださった住用へき地保育所の皆様、ありがとうございました。

奄美復帰記念月間



12月17日(火)の生徒朝会時に、栗林先生と時田先生から絵本の読み聞かせがありました。本の題名は「ばあちゃんちのパスポート」です。

この本は第二次世界大戦後、奄美は日本と切り離されてアメリカに統治されていたことを題材にした本です。

子どもたちは本の内容や、昨年度自分たちが学習したことを振り返りながら、12月が奄美の人々が力を合わせて日本に復帰したことを忘れてはならないとあらためて感じている様子でした。

1月の主な行事

- | | |
|---------|--------------------|
| 1/3(金) | 名瀬・住用地区二十歳のつどい |
| 1/8(水) | 始業式・3年実力テスト(～9木) |
| 1/11(土) | 席書会 |
| 1/15(水) | 鹿児島学力・学習状況調査(～16木) |
| 1/15(水) | 薬物乱用防止教室 |
| 1/15(水) | 県SC朝沼先生来校 |
| 1/28(火) | 県SC朝沼先生来校 |